

## | 事業属性

(単位：千円)

## II 事業基礎情報

### III 予算執行状況

#### IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	空家倒壊等による被害	回	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	特定空家等の除却処分	戸	0 / 0	3 / 3	0 / 0	/ 1	-
	単位あたりコスト			4414.3			
			/	1 /	/	/	空家安全対策事業
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	管理が不適切なため危険な空家等の解消は、周辺住民の安全で安心な生活を守るための重要課題であり、その中でも特に、所有者等が存在しなくなった管理不全な空家等に対しては、行政が取り組む必要性の高い事業である。 ・市内の空家実態を把握し、効率的な作業を進めるため自治会に物件の抽出を依頼する1次調査と、現地を訪問し調査する2次調査により空家等の特定に努めた。 ・(死亡や相続放棄により)管理者の存在しない物件において緊急安全措置を1件実施した(スズメバチの巣撤去)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	除却による危険な空家等の解消は、高いコストの回収が難しく、効率性が低いことが判明している。 ・空家の実態調査及び所有者調査においては、法に基づく範囲内で、行政が保有するデータを有効活用し効率的に調査を実施した。 ・粘り強い指導により、緊急安全対策を実施する直前に所有者による対処(家屋及び塀の撤去)がなされた。	<input type="checkbox"/> やや高い  <input type="checkbox"/> やや低い  <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な管理の呼びかけや、緊急安全対策により近隣住民の安心・安全につながった。</li> <li>・空家実態の調査進捗により市内の空家の特定が進んだ。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>累計で、所有者等の不存在であった空家3件の略式代執行による除却や、緊急安全措置といった行政による強制的な介入も駆使しつつ、建物周辺の生活環境を保全することができている。            また、空家実態の調査により市内の空家傾向を把握することができ、根拠のある施策の展開ができる。</p> <p>【課題】            危険な空家等の解消は、周辺の市民の安全で安心な生活のために喫緊の重要課題である。しかし行政による除却は効率性が低く、所有者による適切な管理又は除却を一層促進しなければならない。</p>		
改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空家対策事業において、所有者等への指導や助言、将来の相続人を含む周辺への啓発と相談会を実施しており、所有者等による利活用や除却を推進することで管理不全となる空家等数の増加を抑制する。</li> <li>・空家実態調査の結果を明確にし、地域ごとの実態や増減の傾向、発生経過などを整理し、施策に反映する。</li> <li>・管理責任を持つ所有者等への確かな情報提供を行い、空家放置に対する事件・事故、損害賠償責任による危機感を共有する。</li> </ul>		

## VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・所有者への啓発を進め、相続権者等の不存在による管理者不存在の物件の発生を抑制する。 ・空家実態調査により現状と過去からの棟数推移を把握する。 ・上記で把握した空家の所有者等へ意向調査を進め、要望等を踏まえ施策を提案する。 ・今後も、所有者の不存在な特定空家等への対応を行う。

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名: )		<input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	空家対策事業							事業コード	530144							
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	3 生活基盤の確立								
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931							
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課					所属長	松井 美幸								
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	01 一般管理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	62		頁
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市空家等対策計画					R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法、福知山市空家等の適正管理に関する条例															
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	適切な管理がされず長期間にわたり放置されている空家等について調査し、所有者等に対して住宅の適切な管理に必要な助言・指導、勧告等を行い、住環境の整備を図る。					
対象者	市民及び市外在住の市内建築物所有者		対象者数	80,200	単位あたりコスト	0.1
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,191		2,145		6,338		459						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
	小計(①～③)	2,191		2,145		6,338		459						
予算財源内訳	① 一般財源	2,191		2,145		6,338		459						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
	決算情報	① 流充用額	0		127									
② 配当予算		2,191		2,272										
③ 執行額		1,636		1,957										
④ 執行率		74.7%		86.1%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.84	/	0.00	0.79	/	1.00	/						
	② 概算人件費	6,720		8,820										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,356		10,777										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	空家倒壊等による被害	回	0	/	0	0	/	0	/	0	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	協議会開催回数	回	2	/	3	2	/	2	/	2	2
	単位あたりコスト		873.5		818.0		978.5				
	空家調査戸数	戸	98	/	98	127	/	95	143	/	105
		単位あたりコスト	17.8		12.9		13.7				空家対策事業

## V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大前提として、空家は所有者が管理するべきであるが、人口減少や少子高齢化など様々な理由により、管理不全となり、地域住民の生活環境に悪影響を与えている事例がある。</li> <li>・周辺から苦情・相談のあった空家等の所有者や連絡先を調査し、是正を依頼することは個人や民間事業者では困難であり、市で調査し助言・指導を行った。</li> <li>・周辺に著しく悪影響を与える空家等を「特定空家等」に認定し、適切に対処した。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理が不適切なため周辺から苦情・相談のあった空家等の所有者等へ働きかけ、適正な管理を促した。</li> <li>・空き家発生を抑制するため、相談や講演会の機会を捉え「元気なうちから(所有者と相続権者)みんなで家の未来を考える」啓発を進めた。</li> <li>・協定を締結している専門家団体と、費用負担なく協力体制を構築しており、専門的知識を持った相談員として空家所有者向けの無料相談会を1回実施した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に存在する管理が不適切な空家等の詳細を把握し、所有者に対して意向確認をすることにより、問題意識の喚起を行うことができた。</li> <li>・所有者に対する情報提供、行政指導も実施しており、24件の管理が不適切な空家の解消を促進することができた。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	<p>苦情・相談があり、管理が不適切な空家等は所有者を捜索して情報提供することで適正な管理を促している。情報提供により一定数の所有者に空家の管理についての必要性を認識させることができています。</p> <p>また、情報提供を経ても管理が不適切な空家等については、継続的に現況を確認し情報提供を行うことで、解体や補修・改修による解消が図られている。ただし、個別の事情が関係するため、解消されない物件が一定数発生しており、その件数を減少させる方策が必要である。</p> <p>【課題】 増加する空家等の抑制は、行政による除却や対応だけでは困難であり、所有者等や将来の相続人を含む啓発等をさらに進め、所有者等による空家等の利活用や除却を推進する必要がある。</p>		
改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者等による問題解決を図る際の支援について先進地事例を参考に検討する。また、個人の資産である空家に対する行政の関与と、市民の生活環境の保全とのバランスの取れた方法を、補助制度なども含め引き続き検討していく。</li> <li>・所有者本人だけでなく将来の相続人を含めた「元気なうちからみんなで家の未来を考える」啓発をさらに進めることで効率的な啓発活動を進めていく。</li> </ul>		

## VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者への啓発を進め、相続権者等の不存在による管理者不在の物件の発生を抑制する。</li> <li>・啓発と指導を空家対策の中心に据える。</li> <li>・空家実態調査で把握した空家の所有者等へ意向調査を進め、要望等を踏まえ施策を提案する。</li> </ul>

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: )	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--	---

## | 事業属性

(単位：千円)

## II 事業基礎情報

### III 予算執行状況

#### IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	※定性的評価		/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	道路修繕等	回	3 / 4	3 / 4	3 / 4	/ 4	-
		単位あたりコスト	183.3	166.3	166.3		
			/	5 /	/	三和支所	きめ細かな安心安全事業
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・災害による被害など、住民の安心・安全な暮らしを守り、迅速に対処を行うために必要な事業であり、また、地域の安全対策に対しても支所長裁量で早期に対応できる有効な事業である。 ・令和4年度は、地域住民から要望のあった3か所の修繕に取り組んだ。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・緊急的な小規模事業を支所長判断により対応できる利点があり、修繕の施工にあたっては、受注業者と効率的な施工について、調整を行った上で、実施した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・地域住民の安心・安全を確保するため、迅速な対応ができる事業であり、令和4年度においても、修繕の施工により事業目的を達成することができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・令和4年度においては、地域要望があるが他部署で即時対応が困難であった市道の外側線や側溝の修繕を支所長裁量で実施し、安心・安全な環境整備を図ることができた。 ・事業の活用方針としては、出水期に発生する災害への緊急措置の原資としているが、その必要がなかった場合は、地域要望があるにもかかわらず、他部署で早期の対応が困難な事案などについて対応する。緊急性や地域の公平性も勘案しながら優先度の高い事案から実施する必要があるが、優先度の設定に土木技師等の専門知識が必要となる場合があり、担当部署との連携が必要となる。		
改 善 策	災害などの緊急対応を想定しているが、その必要がなかった場合は、自治会要望の実施状況を考慮しながら、土木技師等のアドバイスを参考にしつつ計画的に対応していく。 支所長裁量で早期に対応が可能で市民満足度も高く、住民生活の安心・安全確保のため、今後も事業を継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き災害などに早急に対応できるよう、住民生活の安心・安全確保のため事業を実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: )	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---	--



福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	夜久野支所きめ細かな安心安全事業								事業コード	510454				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	3 生活基盤の確立						
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931					
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所					所属長	中島 美香						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	94	頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－			R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	－													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他      (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	道路などの適切な維持管理や居住地の浸水対策、治山・治水対策のため、地域の実情や緊急性を勘案したきめ細かで迅速な対応により、住民満足度の向上を図る。					
対象者	夜久野地域住民		対象者数	2,951	単位あたりコスト	0.7
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	500		500		500		500						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		500		500		500		500						
予算財源内訳	① 一般財源	500		500		500		500						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		8										
	② 配当予算	500		508										
	③ 執行額	449		508										
	④ 執行率	89.8%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.18	/	0.01	0.18	/	0.01			/				
	② 概算人件費	1,465		1,465										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,914		1,973										
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	※定性的評価		/		/		/		/		
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	実施件数	件	3	/	2	2	/	2	3	/	2
		単位あたりコスト	163.7		224.5		169.3				
			/		/		/		夜久野支所きめ細かな安心安全事業		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>地域自治会からの要望を元に、夜久野地域における住民生活の安心・安全確保のために緊急対応を3件実施した。災害等による被害への迅速な対応が行えることから本事業は必要である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>道路管理上一般的に実施される工法と現地で必要な工法を比較し、必要な工法のみを実施することで、コスト縮減を実施した。 自治会要望の中で緊急的な小規模事業を支所長判断により対応できる利点がある。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い  <input type="checkbox"/> やや低い  <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>3件の実施件数を適切に実施し、地域の実情に合わせた対応が出来ることから有効である。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>自治会要望の精査、関係課との調整により優先度と緊急性を考慮し、令和4年度は、道路の修繕3件を実施した。このことにより、住民生活の安心安全を確保することができた。</p>		
改 善 策	<p>きめ細やかな対応ができることから市民満足度も高く、今後も事業を継続することで、住民生活の安心・安全確保を更に図るようにする。</p>		

## Ⅵ 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<b>方針区分</b>	<b>評価を踏まえた見直し内容</b>
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○引き続き、住民生活の安心・安全確保のため、事業を継続する。

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名: )	<input type="checkbox"/> 他事業へ統合	(統合先事業名: )



福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大江支所きめ細かな安心安全事業							事業コード	510455							
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立									
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931							
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所				所属長	神内 明宏									
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	94		頁
計画期間	開始年度	平成23年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	-															
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他      (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	大江地域での迅速で、きめ細かい対応による市民満足度の向上を図る。				
対象者	大江地域の住民	対象者数	3,913	単位あたりコスト	0.6
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他      (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	500		500		500		500						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		500		500		500		500						
予算財源内訳	① 一般財源	500		500		500		500						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		5										
	② 配当予算	500		505										
	③ 執行額	469		505										
	④ 執行率	93.8%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.16	/	0.00	0.22	/	0.00	/						
	② 概算人件費	1,280		1,760										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,749		2,265										
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	※定性的の評価		－ / －		－ / －		－ / －		/ －		－
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	実施箇所	箇所	2 / 2		1 / 2		3 / 2		/ 2		2
		単位あたりコスト	247.5		469.0		168.3				
			/		9 /		/		大江支所きめ細かな安心安全事業		
		単位あたりコスト									

## V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	R4年度は緊急性の高い撤去業務(屋根、土砂、立木)を実施した。自治会要望を精査し、緊急性が高い小規模修繕や役務等に迅速な対応が可能であることから、市民満足度の向上を図るうえで必要性が高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	R4年度は緊急性の高い撤去業務(屋根、土砂、立木)を実施した。支所長権限により実施ができ、迅速かつきめ細かな対応が可能である。併せて複数の見積徴収により、経費削減に努めている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	R4年度は緊急性の高い撤去業務(屋根、土砂、立木)を実施した。小規模修繕や役務等の実施に限られており、各自治会からの要望対応ができ、住民生活の安心安全が図れるため、有効性は高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	住民の安心安全を確保するための小規模な修繕や役務等が、速やかに対応することができた。小規模な修繕等であるため、複数の案件に対応ができることから継続的に取り組む。500千円といった限られた予算で地域内の対応であるため、多くの修繕等を実施することができないことが課題である。		
改 善 策	自治会要望等の精査、関係課と調整により、より多くの修繕等が実施できるよう努める。		

## VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	斎場施設改修事業										事業コード	540560				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち						政策目標	3 生活基盤の確立							
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備								施策コード	931					
事業担当	所属	05030000 市民総務部 市民課						所属長	時井 博信							
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	03 環境衛生費		会計	01 一般会計		決算附属資料	162		頁
計画期間	開始年度	平成8年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	墓地、埋葬等に関する法律															
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input checked="" type="checkbox"/> その他    (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・人生終焉の地にふさわしい施設として、葬祭棟・火葬棟に係る設備改修工事を行う。 ・施設の老朽化に伴い、施設改修計画に基づいた計画的・継続的な改修・整備に取り組み、日々の火葬業務に支障をきたすことがないよう施設運営を行っていく。					
対象者	葬祭棟・火葬棟使用者		対象者数	20,000	単位あたりコスト	3.5
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	37,000		40,700		135,500		140,587			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	△ 24,992		24,992		0		0			
		前年度繰越	0		24,992		0				
		次年度繰越	△ 24,992		0						
小計(①～③)		12,008		65,692		135,500		140,587			
予算財源内訳	① 一般財源	608		3,392		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	11,400		62,300		128,700		133,500			
	⑤ その他特財	0		0		6,800		7,087			
決算情報	① 流充用額	△ 989		△ 3,464							
	② 配当予算	11,019		62,228							
	③ 執行額	10,802		60,734							
	④ 執行率	98.0%		97.6%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.69	/	0.08	1.09	/	0.22	/			
	② 概算人件費	5,720		9,270							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		16,522		70,004							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	斎場施設改修事業(旧合併特例)(繰越明許費分)		種類	衛生債		23,700		52	頁
			斎場施設改修事業(旧合併特例)			衛生債		33,900			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	告別式場使用件数	件	160	/	200	125	/	200	115	/	200
	施設改修件数	件	0	/	0	3	/	10	5	/	10
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	火葬件数	件	953	/	1000	1068	/	1000	1115	/	1000
	単位あたりコスト		63.8		10.1		54.5				
	単位あたりコスト		/		11		/		/		斎場施設改修事業

## V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・斎場は、社会生活において必要不可欠な施設であり、「墓地・埋葬等に関する法律」に基づき安定した火葬業務の提供が必要である。</li> <li>・斎場に関わる改修事業は、故人の葬送を行う場として、最後のお別れの場に相応しい快適な空間とサービスを提供するために必要な事業である。</li> <li>・R4年度の取組事業として、主に設備の老朽化が激しかった監視カメラの更新と場内全ての照明のLED化改修を行った。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の改修における業者選定については、火葬炉工事を除き、全て指名競争入札により業者選定。必要最小限のコストになっている。</li> <li>・施設改修に関わり火葬業務・運営に支障をきたすことがないよう、優先順位を考慮効率よく事業に取り組んでいる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工後26年が経過し、毎年度消耗する設備や耐用年数が経過した設備あることから、年次計画に基づいた施設の整備を行っている。また、各種設備の保守点検業務も適正に実施している。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化に伴い、施設改修計画に基づいた計画的・継続的な改修・整備に今後取り組んでいく必要がある。</li> <li>・これから先、高齢社会が進んでいくなか火葬件数も増加傾向にある。常に必要不可欠な施設であることから日々の火葬業務に支障をきたすことがないよう施設運営を行っていく必要がある。</li> </ul>		
改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生終焉の地にふさわしい施設として、R5年度は次の施設改修に取り組む。①火葬炉改修工事(毎年度実施)炉内の耐火材の取替、炉台車や電動運搬車の整備、②火葬棟の監視カメラ改修工事(全台取替)、③冷暖房設備改修工事(老朽化による設備更新)、④正面玄関歩廊のバリアフリー化工事(段差解消)</li> </ul>		

## VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心、安全な火葬業務を実施していくため、計画的に施設改修に取り組んでおり、冷暖房や監視カメラ等の内装設備はR5年度でほぼ完了する。火葬炉については、火葬件数の増加もあり、常に炉の補修は必要となるが、R6、R7年度の2年間は、火葬炉自体の大規模改修(供用開始から3回目)を行っていく。</li> </ul>

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	戸籍総合システム等改修事業										事業コード	810205			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	3 生活基盤の確立					
	施策名	1 豊かな生活空間の整備								施策コード	931				
事業担当	所属	05030000 市民総務部 市民課							所属長	村上 五十鈴					
会計情報	款	02 総務費		項	03 戸籍住民基本台帳費		目	01 戸籍住民基本台帳費		会計	01 一般会計		決算附属資料	104	頁
計画期間	開始年度	令和2年度		終了予定年度	令和4年度		関連計画名	ー			R5現在の状況		廃止/休止		
根拠法令等	戸籍法、住民基本台帳法、デジタル手続法														
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	社会保障・税番号制度に係る国・地方公共団体間での情報連携が令和5年度末から開始され、行政の電子化を進める。市民課では、ネットワーク連携に関連する各システムに必要な改修(戸籍情報連携システムへの接続に係る改修、情報提供用個人識別符号に係る改修、戸籍事務内連携に係る改修)を行う。					
対象者	戸籍:福知山市に本籍がある人 住基:福知山市に住民登録がある市民		対象者数	170,654	単位あたりコスト	0.1
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,720		9,460		0		0					
	② 補正予算	3,281		0		0		0					
	③ 繰越予算	3,143		3,281		0		0					
	前年度繰越	6,424		3,281		0							
	次年度繰越	△ 3,281		0									
小計(①～③)		9,144		12,741		0		0					
予算財源内訳	① 一般財源	2,720		4,467		0		0					
	② 国支出金	6,424		8,274		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		△ 567									
	② 配当予算	9,144		12,173									
	③ 執行額	8,564		10,574									
	④ 執行率	93.7%		86.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.21	/	0.00	0.16	/	0.00	/					
	② 概算人件費	1,680		1,280									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		10,244		11,854									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	戸籍総合システム改修費等補助金		種類	総務費国庫補助金		6,864		決算附属資料	18		頁
			戸籍総合システム改修費等補助金(繰越分)			総務費国庫補助金		2,422			18		
			デジタル基盤改革支援補助金			総務費国庫補助金		429			18		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	戸籍届受付数(本＋非本＋送付)	件	4178	/	5000	4231	/	5000	3652	/	－	－
			/		/		/		/			
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	戸籍、住基等事務研修	回	3	/	4	3	/	4	2	/	－	－
	単位あたりコスト		1228.7		2854.7		5287.0					
	法改正の研修会への参加	回	2	/	2	2	/	2	2	/	－	－
	単位あたりコスト		1843.0		4282.0		5287.0					

## V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	段階的改修の最終期限は令和5年度末までと法令で定められており、国から提示される仕様書に基づき実施した。マイナンバー制度に基づく行政の電子化に向けた改修である。戸籍の広域交付や戸籍謄本の添付省略化を目指す。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	当該経費は事業を実施する上で必要不可欠なものである。各システム業者独自の改修のため価格交渉を行い、補助金申請も行っている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	戸籍の親子関係や住所の情報を税・社会保障等行政事務全般で利用できるようになり、各種届出・申請時に戸籍の提出を省略できるようになるため、市民の利便性を向上させる重要な改修である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	〔評価〕 マイナンバー制度に基づき、戸籍電算システム及び住基システム等を段階的に改修し、戸籍の広域交付が可能となる。また、戸籍届等の手続きにおいて添付書類の省略ができるようになる。 〔課題〕 戸籍電算システム、住基システム等の改修を国のスケジュールに従い、短い期間で改修を実施する必要がある。		
改 善 策	マイナンバー制度に基づく行政手続きの効率化のため、戸籍電算システム及び住基ネットワークシステムを段階的に改修した。令和5年度末まで、国のスケジュールにより本格稼働のための準備を進める。		

## VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合    (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合    (統合先事業名: )
--------	---



## (単位：千円)

# V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	デジタル社会の形成に向け、その基盤となるマイナンバーカードの普及促進は重要であり、マイナンバーカードに係る申請、交付、運用に関する事務は必要性がある。 国が目指す「令和4年度末にはほぼ全国民にマイナンバーカードが行き渡るように」の目標達成のため、マイナンバーカードの普及促進の取組の強化の必要性がある。 ・窓口、郵送、スマートフォンなど多様な申請方法の案内と出張申請窓口の設置など申請機会の拡大 ・簡単に申請ができるように写真撮影と同時にオンライン申請ができるタブレットの導入 ・交付時の来庁を不要とする郵送交付の取組の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	マイナンバーカード申請者が準備する証明写真を無料撮影するサービスで申請に係る負担や経費を軽減することやマイナンバーカードを郵送で交付することで、受け取りのための来庁を不要とするなどの方法によりマイナンバーカードの普及促進を効率的に進められている。 ・簡単に申請ができるように写真撮影と同時にオンライン申請ができるタブレットの導入 ・交付時の来庁を不要とする郵送交付の取組の実施	<input type="checkbox"/> やや高い  <input type="checkbox"/> やや低い  <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	オンライン化などの行政手続きの進展には、マイナンバーカードは必要不可欠なものとなるため、マイナンバーカードの普及促進の取組は有効かつ重要である。 ・窓口、郵送、スマートフォンなど多様な申請方法の案内と出張申請窓口の設置など申請機会の拡大 ・簡単に申請ができるように写真撮影と同時にオンライン申請ができるタブレットの導入 ・交付時の来庁を不要とする郵送交付の取組の実施 休日開庁においては、月3回／12か月を計画値としていたが、交付枚数等を考慮し開庁日を調整した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	マイナンバーカード申請専用タブレットによる申請は写真撮影と同時にオンライン申請ができ、申請者にとっては写真に係る経費の負担軽減や申請書作成不要などのメリットがある。また、市民課にとっても、写真の切り貼りや申請書の郵送に係る事務などが省略できるなど事務の効率化が図れるメリットがある。 さらにマイナンバーカードの受取りについても、交付時の再来庁を不要とする郵送交付やマイナンバーカードを受取っていない方への受取勧奨通知による受け取りの促しなどは有効な取組であり、普及促進につながっている。  まだマイナンバーカードを取得されていない方々に対してマイナンバーカードの必要性や重要性などを周知していく必要がある。  予算執行率が50%未満の主な要因としては、役務費郵送料、本人限定郵便郵送料が予算よりも下回ったためである。		
改 善 策	マイナンバーカードの必要性・重要性について周知広報する。 マイナンバーカード未取得者の年齢別、地区別保有率などを把握する。		

# VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

# VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換え <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	窓口、郵送、出張申請窓口、オンラインでの申請など多様な申請方法があることの周知を行い、マイナンバーカードの申請促進を促す。また、出張申請窓口の開設などにより申請機会を拡大させる。さらに、交付時の来庁を不要とする申請時来庁方式により、来庁する回数の負担軽減を行うなど、マイナンバーカードの申請及び交付促進を図る。 また、三支所に統合端末を設置し、本庁でしかできなかった電子証明書の更新や暗証番号の再設定等も行えるようにする。 これにより、本庁までの来庁が困難な方の負担軽減や、令和7年度以降に増加する電子証明書の更新対象者への対応が可能となる。

# VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	---

## (単位：千円)

事業名	マイナンバーカード普及強化事業										事業コード	810291				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を察せる基盤の整ったまち						政策目標	3 生活基盤の確立							
	施策名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931							
事業担当	所属	05030000 市民総務部 市民課						所属長	村上 五十鈴							
会計情報	款	02 総務費		項	03 戸籍住民基本台帳費		目	01 戸籍住民基本台帳費		会計	01 一般会計		決算附属資料	106		頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	-															
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    ( )															
関連事業	マイナポイント事業【国事業】															

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	地域等へ出向く出張申請窓口を開設するなど、マイナンバーカードの申請機会を拡大し、マイナンバーカードの取得を促進する。				
対象者	福知山市民	対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.2
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他     ( )				
委託先・実施主体等	株式会社日本旅行TiS福知山支店、プラスツーリスト株式会社				
事業概要 (簡条書き)	・出張申請窓口の開設 自治会や企業等へ出向き出張申請窓口を開設する。				
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績 (R4)	主な業務内容		
	報酬	3,930	臨時職員報酬		
	共済費	566	臨時職員共済費負担金		
	委託料	2,962	マイナンバーカード申請サポート業務委託		
	使用料及び賃賃借	1,074	公用車賃借料、施設使用料・入館料等(マイナンバーカード申請サポート会場の賃賃借)等		
	職員手当等 ほか	1,056	職員手当等、需用費(マイナンバーカード申請サポートチラシ印刷等)、役務費、備品購入費(コンパクトフォトプリンター)		

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0		0		3,994		3,712					
	② 補正予算	0		17,379		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		0		17,379		3,994		3,712					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		17,379		3,994		3,712					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		304									
	② 配当予算	0		17,683									
	③ 執行額	0		9,588									
	④ 執行率	0.0%		54.2%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00		0.49 / 0.10		/		/					
	② 概算人件費	0		4,170									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		13,758									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	個人番号カード交付事業費補助金		種類	総務費国庫補助金		実績金額	9,553		18	頁	
			マイナポイント事業費補助金			総務費国庫補助金			35				18

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	出張申請によりマイナナンバーカードを取得した人数	人	0 / 0	0 / 0	1608 / 3000	/ 193	193
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	出張申請の回数	回	0 / 0	0 / 0	166 / 150	/ 89	89
		単位あたりコスト	0.0	0.0	57.8		
			/	/	/	/	
		単位あたりコスト					

## V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>マイナンバーカードの申請には、申請書の取得や証明写真の準備が必要となる。 また、市役所や支所までは行きにくいが地域の公民館などへは出向くことができる方などのために、職員が出向き申請書の作成サポートや写真撮影などを行い、申請の機会を設けることはマイナンバーカードの普及促進のために必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出張申請窓口の開設により、申請機会の拡充を行った。</li> <li>・マイナンバーカード申請専用端末の使用や写真撮影、申請書の作成サポートを行うことにより、申請手続きの負担軽減をした。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>マイナンバーカード申請専用端末の使用やその場で証明写真を作成するなどにより効率的な申請受付をすることで、申請者の写真撮影に係る経費負担の軽減ができる。 また、申請の際に所定の手続きができれば、マイナンバーカードを郵送で受け取る方法を活用することで、申請者が受取のために市役所へ来庁する負担を軽減できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカード申請専用端末の使用や写真撮影、申請書の作成サポートを行うことにより、申請手続きの負担軽減をした。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い  <input type="checkbox"/> やや低い  <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>出張申請窓口の開設や郵便受取の活用などにより、マイナンバーカードの取得のための手続きが簡単になることがマイナンバーカード取得の動機付けとなり、マイナンバーカードの普及促進につながる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会や企業・商業施設など身近な場所で申請できるよう出張窓口を開設した。</li> <li>・申請時来庁方式の活用により、受取のために市役所へ来庁する負担を軽減した。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>自治会等へ出向いた際には、「市役所や支所まで行かなくても普段から行き慣れている近くの公民館などで手続きができるのありがたい」となどというお声をいただく。 また、出張申請の申込をされる自治会長様やグループの代表の方は「地域の方々がマイナンバーカードを取得し易いように」という思いで出張申請窓口を活用いただいている。 市役所職員が地域へ出向くことで、市民の方々の負担軽減になることに加え、地域の中で市民の方々とお話する中で、マイナンバーカードに対する理解が進み、市民の方々のマイナンバーカードの活用も広がっていくと考える。</p> <p>まだマイナンバーカードを取得されていない方々の年齢層や地区別保有率などを把握し市役所から積極的に呼びかける必要がある。</p>		
改 善 策	<p>市内の年齢別、地区別保有率を把握し、出張申請の機会を設ける。</p>		

## VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換え <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	出張申請窓口の開設により、最寄りの会場で申請ができ、市役所や支所に来庁する負担軽減を図る。また、写真撮影を行ったり、申請時来庁方式をとるなど、申請しやすい取り組みを継続しマイナンバーカードの取得促進を図る。

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: マイナンバーカード交付等推進事業)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	情報通信環境再整備事業										事業コード	140108				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち						政策目標	3 生活基盤の確立							
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備								施策コード	931					
事業担当	所属	05100000 市民総務部 デジタル政策推進課						所属長	藤田 正美							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	11 地域情報化推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	98	頁	
計画期間	開始年度	平成27年度		終了予定年度	令和10年度		関連計画名	e-ふくちやま事業再整理基本計画					R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	-															
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他      (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	地域間情報格差の是正を目的とし、テレビ難視聴地域に対する地上デジタル放送再送信サービスや民間事業者の高速インターネット接続環境が提供されていない地域に対するインターネット接続サービスを提供している「eーふくちやま」事業について、将来的にも顧客ニーズにあった持続可能で安定したサービス提供を図るため、事業の民営化を行った。 本事業では、民間事業者によるサービス提供に対して財政支援を行い、地上デジタル放送等の情報通信環境基盤を適切に維持する。							
対象者	「eーふくちやま」事業サービス提供エリアの住民や法人等		対象者数	3,204		単位あたりコスト	20.1	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (							

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	61,511		61,511		61,511		61,511					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		61,511		61,511		61,511		61,511					
予算財源内訳	① 一般財源	80		96		99		101					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	61,431		61,415		61,412		61,410					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	61,511		61,511									
	③ 執行額	61,510		61,510									
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.30	/	0.00	0.37	/	0.00	/					
	② 概算人件費	2,400		2,960									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		63,910		64,470									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	情報通信環境再整備事業(地域振興基金)			種類	基金繰入金		21,300		決算附属資料	40	頁
			情報通信環境再整備事業(過疎地域持続的発展基金)				基金繰入金		40,000			40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	福知山市限定コース利用件数	件	2306	/	2300	2239	/	2300	2206	/	2300
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	補助金交付	件	1	/	1	1	/	1	1	/	1
	単位あたりコスト		-		61500.0		61510.0				
	単位あたりコスト		/		19		/		/		情報通信環境再整備事業

## V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	民間事業者に補助金を支出したことにより、テレビ再送信サービスとインターネット接続サービスを安定して提供できた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	市の直営で実施していた場合は、令和10年まで60億円近くの負担増となる見込みであり、コストダウンできた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	平成30年度には移行対象とした4100件の移行が完了し、これによりe-ふくちやま事業の民営化が完了した。プロポーザルでの提案、協定書に基づき、運用経費の支援を行うことにより、安定してサービス提供できている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	e-ふくちやま事業で提供してきた地上デジタル放送と高速インターネット接続インフラについて、民間事業者に移転した。このことにより、e-ふくちやま事業よりも多様で豊富なサービスが実現、かつ、安定して提供できている。利用者に対しては、民間事業者によってインフラとサービスが統合的にサポートされることで、利便性が向上し、市の対応業務が大幅に軽減した。 (株)オプテージ(旧社名:ケイオプティコム)との間で、令和10年度までの期間で、e-ふくちやま事業民営化に関する基本協定を結んでいる。また、予算措置についても、平成27年度から令和10年度までの間で21億4800万円の債務負担行為を設定している。		
改 善 策	令和3年度分から押印を廃止したことにより、民間事業者からの資料提出期間が短縮できている。今後は契約期間満了後の方針検討に向けて、契約者の動向など情報収集し分析する。		

## VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和10年度まで契約した事業を継続 以降の取り扱いについて、令和8年度から検討する予定

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	---



福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	住宅費一般管理事業										事業コード	530123			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	3 生活基盤の確立					
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備								施策コード	931				
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課							所属長	中川 博文					
会計情報	款	08 土木費		項	05 住宅費		目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	214	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名						R5現在の状況	継続中	
根拠法令等															
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市営住宅の適正な維持管理、本市の建築工事の実施に関わる建築住宅課受任工事を実施するために必要となる消耗品、公用車、電子計算機等の維持管理を実施することを目的とする。					
対象者			対象者数		単位あたりコスト	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	10,403		11,861		10,746		14,067						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		10,403		11,861		10,746		14,067						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0								
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	10,403		11,861		10,746		14,067						
決算情報	① 流充用額	291		△ 2,832										
	② 配当予算	10,694		9,029										
	③ 執行額	10,488		8,526										
	④ 執行率	98.1%		94.4%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	2.75	/	0.10	2.60	/	0.15	/						
	② 概算人件費	22,250		21,175										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		32,738		29,701										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	市営住宅使用料(過年度)		種類	土木使用料		実績金額	3,155		決算附属資料	12		頁
			団地駐車場使用料(過年度分)			土木使用料			447			12		
			府営住宅団地貸付収入			財産貸付収入			4,874			34		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	システムトラブル	回	0	/	0	0	/	0	/	0	-
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	システム保守対応件数	件	2	/	2	2	/	2	/	2	-
	単位あたりコスト		4929.5		5244.0		4263.0				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

# V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	市営住宅の管理及び受任工事を円滑に実施するにあたり、市営住宅管理システム、積算システムの維持管理や公用車管理など必要最低限の経費であり必要性は高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	市営住宅管理システム、積算システムの導入により、事務効率の向上が図られており、人件費削減に寄与した。また、長期継続契約ができるものは、価格交渉の上、長期継続契約を締結し事務の効率性を高めた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	市営住宅使用料の徴収及び設計業務において、円滑な事務の遂行を図ることができ有効であった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	市営住宅管理に係る使用料徴収、入退去管理及び受任工事の設計業務において使用する電子計算機を整備、維持管理しており、適正に維持管理が実施されたことで効率的な事務執行が行えた。【定性的評価】		
改 善 策	公用車及び電子計算機のリースについては、リースに係るコストを削減するため、引き続き長期継続契約による維持管理を行う。		

# VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

# VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	公用車の新規EV車購入及び新規リース契約による増額

# VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	市営住宅保守管理事業										事業コード	530127				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	3 生活基盤の確立						
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備								施策コード	931					
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課							所属長	中川 博文						
会計情報	款	08 土木費		項	05 住宅費		目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	214	頁	
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名				R5現在の状況				継続中	
根拠法令等																
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市営住宅の共用設備等の保守や住宅管理人の選定、敷地内の除草など市営住宅の住環境を良好に維持し提供する。					
対象者	市営住宅住民		対象者数	1,300	単位あたりコスト	19.5
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	12,584		13,229		13,236		15,970			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		12,584		13,229		13,236		15,970			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	12,584		13,229		13,236		15,970			
決算情報	① 流充用額	78		979							
	② 配当予算	12,662		14,208							
	③ 執行額	12,413		14,136							
	④ 執行率	98.0%		99.5%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.25	/	0.00	1.40	/	0.00	/			
	② 概算人件費	10,000		11,200							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		22,413		25,336							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	市営住宅使用料(現年度)		種類	土木使用料		4,973		12	頁
			向野駐車場除草作業地元負担金			雑入		23			
			団地内駐車場使用料(現年度)			土木使用料		9,140			
						実績金額		決算附属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	エレベーター故障回数	回	0	/	0	0	/	0	/	0	-
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	消防設備点検保守	団地	16	/	16	16	/	16	/	16	16
	単位あたりコスト		874.3		775.8		883.5				
	エレベータ保守点検	団地	2	/	2	2	/	2	/	2	2
		単位あたりコスト	6994.0		6206.5		7068.0				

# V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	市営住宅において安心した生活環境を提供する必要があるため、給水設備やエレベーターなどの保守及び法定点検を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	市営住宅の円滑な管理や人件費の削減を図るため、市営住宅の入居者や所属自治会の住民から住宅管理人と駐車場管理人を選任して、入居者のニーズを反映した効率性の高い住宅管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	市営住宅の設備を長期的に安全に利用するためには、定期的な保守点検が必要であり有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	設備が原因となる事故等を未然に防止し、住民の生活に欠かせない設備等の保守点検や住宅の保守管理が効果的に実施できた。		
改 善 策	設備自体の老朽化により、メンテナンスだけでは維持できなくなることを予測し、こまめな点検を継続して実施し、必要に応じて改修、更新作業を行う。 樹木の繁茂、立木の腐朽等による不測の事故を防ぐため、年間計画に基づき計画的に伐採、剪定を行っていく。		

# VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

# VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	市営住宅の健全な維持管理を行うための残置物処分による増額

# VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市営住宅修繕事業										事業コード	530129			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	3 生活基盤の確立					
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備								施策コード	931				
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課							所属長	中川 博文					
会計情報	款	08 土木費		項	05 住宅費		目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	214	頁
計画期間	開始年度	昭和28年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名					R5現在の状況		継続中	
根拠法令等															
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	自力では適正な住宅の確保が困難な世帯に対して、住宅セーフティーネットの機能として、市営住宅の良好な住環境を提供する。					
対象者	市営住宅入居者		対象者数	1,300	単位あたりコスト	40.5
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	31,700		28,598		29,420		31,820			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	3,333		0		0		0			
	前年度繰越	3,333		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		35,033		28,598		29,420		31,820			
予算財源内訳	① 一般財源	3,333		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	31,700		28,598		29,420		31,820			
決算情報	① 流充用額	△ 1,242		3,832							
	② 配当予算	33,791		32,430							
	③ 執行額	33,632		31,839							
	④ 執行率	99.5%		98.2%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	2.65	/	0.00	2.60	/	0.00	/			
	② 概算人件費	21,200		20,800							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		54,832		52,639							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	市営住宅使用料(現年度)		種類	土木使用料		31,839		12	頁
						実績金額		決算附属資料			

# V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>住生活の支障となる維持修繕を行うことにより、居住性の維持が図られている。空家についても、予算に応じた、計画性をもった募集戸数にて実施を行い、市民ニーズに答えている。</p> <p>・緊急性のある修繕を優先し実施を行った。</p>	<input type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>維持修繕においては、不良個所のみ補修を行うなど、コスト削減に努め、住宅使用料を財源にするなど努めている。</p> <p>・部分修繕を行うなど、コスト削減につとめた。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>適切な維持管理を行うことにより、住環境の維持や建物の長寿命化が図れ、市民満足が得られている。</p> <p>・過去の平均値650戸を最大値と見込んでいるが、近年は少なく抑えられている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	維持管理修繕を行うことで、住環境の維持や建物の長寿命化が図れ、空家修繕の実施により住宅提供が行えた。		
改 善 策	空家戸数の減少に向けた予算確保などの取り組み。		

# VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

# VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	工事費価格の上昇による増額

# VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	---



福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市営住宅改善事業										事業コード	530130			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち						政策目標	3 生活基盤の確立						
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備								施策コード	931				
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課						所属長	中川 博文						
会計情報	款	08 土木費		項	05 住宅費		目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	214	頁
計画期間	開始年度	平成14年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市公営住宅等長寿命化計画					R5現在の状況	継続中	
根拠法令等															
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、高齢化対応をはじめ、居住環境の改善を図る。					
対象者	市営住宅入居者		対象者数	1,300	単位あたりコスト	86.0
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	158,420		99,000		79,300		156,720			
	② 補正予算	△ 48,000		0		0		0			
	③ 繰越予算	3,810		0		0		0			
	前年度繰越	3,810		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		114,230		99,000		79,300		156,720			
予算財源内訳	① 一般財源	9,188		0		0		0			
	② 国支出金	40,322		36,000		28,110		40,230			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	38,500		36,000		31,900		40,230			
	⑤ その他特財	26,220		27,000		19,290		76,260			
決算情報	① 流充用額	△ 3,410		0							
	② 配当予算	110,820		99,000							
	③ 執行額	106,528		94,493							
	④ 執行率	96.1%		95.4%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	2.17	/	0.00	2.17	/	0.00	/			
	② 概算人件費	17,360		17,360							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		123,888		111,853							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	市営住宅改善事業(社会資本整備総合交付金)		種類	土木費国庫補助金		28,898		22	頁
			市営住宅改善事業(公営住宅建設)			土木債		28,800			
			市営住宅使用料(現年度)			土木使用料		36,795			
						実績金額		決算附属資料		54	
										12	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標			
	公営住宅の長寿命化	戸	49	/	50	0	/	0	112	/	112	/	180	—
			/		/		/		/					
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標			
	長寿命化改善工事	戸	49	/	50	0	/	0	112	/	112	/	180	—
		単位あたりコスト	1739.1				843.7							
	ガス、火災警報器更新工事	戸	0	/	0	0	/	0	136	/	146	/	108	—
		単位あたりコスト	0.0		27		694.8				市営住宅改善事業			

# V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営住宅の機能性向上改修や設備の改善を計画的に行い、居住性の向上および建物の長寿命化が図られた。</li> <li>・雨漏りや機器の故障など、生活環境に悪影響をあたえる事業を優先した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数棟の工事を一括発注することによる経費削減や、ランニングコストも視野にいった工法選択によりコスト削減を図った。</li> <li>・材料や機器において、品質を重視しつつ低価格なものを選定した。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の長寿命化など、住環境の維持、向上のため、改善工事を実施した。</li> <li>・外壁塗装による防水性能の向上、高効率な給湯器更新などによる省エネ化を行った。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	市営住宅の機能性向上改修や設備の改善を計画的に行い、居住性の向上および建物の長寿命化が図られた。		
改 善 策	器機更新等の法令に基づく改修については、入居者の都合による施工もれが発生しないように管理する。		

# VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

# VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	改善工事箇所数増による増額

# VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市営住宅明渡し事業										事業コード	530133			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	3 生活基盤の確立					
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備								施策コード	931				
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課							所属長	中川 博文					
会計情報	款	08 土木費		項	05 住宅費		目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	214	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名						R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	公営住宅法、福知山市営住宅条例														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市営住宅使用料の悪質な滞納や不正同居などを解消し、市営住宅住民の公平性を確保する。					
対象者	市営住宅使用料滞納者		対象者数	100	単位あたりコスト	45.0
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,448		1,440		1,440		1,440				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		1,448		1,440		1,440		1,440				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	1,448		1,440		1,440		1,440				
決算情報	① 流充用額	0		△ 1,309								
	② 配当予算	1,448		131								
	③ 執行額	32		49								
	④ 執行率	2.2%		37.4%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.30	/	0.50	0.40	/	0.50	/				
	② 概算人件費	3,650		4,450								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,682		4,499								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	市営住宅使用料(過年度分)		種類	土木使用料		49		決算附属資料	12	頁
						実績金額						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	納付の公平性が確保できなければ、行政制度への信頼は揺らぎ、市営住宅の管理運営に大きな支障をきたすことは明白である。 市営住宅の使用料は、入居者の所得に応じた応能家賃であり、さらに市独自の減額制度や猶予制度を設けているなかで、悪質な滞納者に対して毅然とした態度を示すため、本事業は必要なものである。 令和4年度は2件の市営住宅明渡し訴訟を行い、勝訴となり、今後、強制執行の措置を行う。	<input type="checkbox"/> 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	市営住宅使用料は民事債権であるため、自力執行は法により禁じられており、賃貸借契約の解除や明渡し、債権の強制執行は、訴訟等法的措置に拠らなければならない、他の代替手段がない。 職員による代理人指定をすることにより、訴訟費用のコスト削減ができた。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	訴訟にあたっては、督促や催告書等の送達などの事前準備のほか、弁護士費用等、期間・費用を要することや、訴訟の実績を積み重ねることにより他の滞納者に対する抑止力となる有効性を考慮すると、現在の人員で成果・実績件数は妥当である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和4年の予算に対し執行が少なかった要因として、2件の市営住宅明渡し訴訟を提起し、勝訴に至ったが、令和5年度に継続したため、強制執行に係る弁護士委託料の執行がなかったことが要因である。		
改 善 策	賃貸借契約の解除を求める場合は、明渡し訴訟による必要があるが、債権保全だけであるなら、支払督促や公正証書等においても債務名義が訴訟に比べ、容易に債務名義が確保できることから積極的な活用を検討していきたい。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: )	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---	---	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	つつじが丘・向野団地建替事業							事業コード	530145					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立							
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931					
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課				所属長	中川 博文							
会計情報	款	08 土木費		項	05 住宅費		目	02 住宅建設費		会計	01 一般会計	決算附属資料	216	頁
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	つつじが丘・向野団地建替事業基本計画				R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市公営住宅等長寿命化計画、PFI法													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数を超過し老朽化した市営住宅団地の建替を行い、市民の安心・安全と居住水準の向上を図る。					
対象者	つつじが丘・向野団地入居者		対象者数	150	単位あたりコスト	2,113.7
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	46,714		311,589		1,375,767		833,716				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		46,714		311,589		1,375,767		833,716				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0						
	② 国支出金	12,320		155,210		687,500		410,500				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	20,800		155,200		687,500		410,500				
	⑤ その他特財	13,594		1,179		767		12,716				
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	46,714		311,589								
	③ 執行額	42,976		311,130								
	④ 執行率	92.0%		99.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.77	/	0.00	0.74	/	0.00	/				
	② 概算人件費	6,160		5,920								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		49,136		317,050								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	つつじヶ丘・向野団地建替事業(社会資本整備交付金)		種類	土木費国庫補助金		実績金額	164,744	決算附属資料	22	頁
			つつじヶ丘・向野団地建替事業(公営住宅建設)			土木債			134,700		54	
			市営住宅使用料(過年度)			土木使用料			459		12	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	事業進捗率	%	0	/	100	1	/	100	9	/	100
	(アトバイザリー、土地売買、本契約)		/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	地元協議、説明会(周辺含)	回	2	/	12	5	/	12	11	/	12
	1/月程度	単位あたりコスト	0.0		0.0		28284.5				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト			31				つつじが丘・向野団地建替事業		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>民間活力導入による建設等のコスト比較を行い、有効な事業推進を図る。</p> <p>令和4年度については、基本設計、実施設計を行い、都市計画法、建築基準法の許認可を取得し、現場施工に着手した。</p> <p>現在は第1期棟の基礎施工中である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>民間活力導入による建設等によりコストの削減が期待できる。</p> <p>VFM(PFI方式と従来方式と比べた削減率)は約9%を見込んでおり、一括発注により事業も効率よく進捗している。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い  <input type="checkbox"/> やや低い  <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>民間活力導入による建設等によりコストの削減が期待できる。</p> <p>令和4年度まで予定通り事業進捗しており、設計から現場施工まで一括しての監理で、職員の負担軽減につながっている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づく建替事業であり、居住水準の向上のためにも重要な事業である。また、PFI手法による発注により、VFM効果とスムーズな進捗管理等、民間活力を最大限生かしたい。</p> <p>令和4年度時点で、基本設計、実施設計を完了し法的許認可を経て現場着手している。今後事業を進めるにあたって、近隣住民、自治会への事業の理解や、入居者の引っ越し、スムーズな既存住宅の解体や余剰地の利用、また建設材料の物価高騰による受注額増についても課題ととらえている。</p>		
改 善 策	<p>福知山市での初めてのPFI手法による事業なので、不安要素はあるがスムーズな進捗になるよう積極的な事業者との協議を図りたい。</p> <p>近隣住民には、自治会をつうじて説明することにより理解を得るとともに、事業の遅延にならないよう入居者への丁寧な説明と対応を密に実施していく。また、建設材料の物価高騰については、単価の動向を把握しつつ適正に対応していきたい。</p>		

## VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	年度ごとの出来高支払いとなっているため

## VIII 預算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名: )		<input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )



## (単位：千円)

## II 事業基礎情報

### III 予算執行状況

#### IV 業績指標

既設公園管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・公園は、良好な都市環境、災害時の防災拠点、レクリエーションや健康運動、文化活動、地域間の交流・連携の拠点など、さまざまな役割を併せ持つオープンスペースであり、市民活動の場を適切に維持管理することは必要不可欠である。 ・維持管理だけでなく、地元要望による施設整備や改修も適宜行っており、令和4年度においては、多くの要望がある遊具の更新工事を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・指定管理者公募時の内容及びその後の第三者評価委員会に基づき指定管理業務を発注しており、コスト削減ができています。 ・民間事業者のノウハウを用いて包括的に維持管理や有料施設の運営を行うことで、効率的かつコスト削減を図りながら事業を実施できている。 ・指定管理者制度により、事務にかかる人件費を大幅に削減できている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・公園の整備や管理を、市民と協働し行うことで、愛着が生まれ、市民ボランティアの増加につながっている。 ・市民からの要望や苦情に直結して事業であり、迅速に対応していくことで市民満足度の向上を図ることができる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・三段池公園内及び長田野公園に設置されている体育施設について、より有効的な活用を図るため、平成30年度に策定された「福知山市スポーツ推進計画」を基に管理運営の整理を行い、別の指定管理事業とし運営している。 ・三段池公園において、飲食物を販売する施設がないことから、正午前後の利用者が少なくなる傾向がある。 ・コロナ感染症拡大による利用制限も少なくなったことから有料施設利用者数は回復傾向にあり、徐々にイベント開催も増えてきている。 ・公園は人々の生活にとって必要不可欠なものであり、適正に管理を行うだけでなく、利活用の検討を行い、魅力あるまちづくりに寄与するものとしていきたい。		
改 善 策	・人口減少の中、アンケート実施等により、公園利用者のニーズを把握し、管理運営等を改善していくことにより、公園利用者の増加を図る。 ・キッチンカーの誘致など飲食機能を確保するための仕組み造りを検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	伯耆丸公園法面崩壊対策及び、福知山鉄道館建設に伴う福知山城公園整が完了したため、令和5年度予算要求に比べ大幅に減額した。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	都市公園等環境整備事業										事業コード	530209			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	3 生活基盤の確立					
	施策名	1 豊かな生活空間の整備								施策コード	931				
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課							所属長	芦田 裕人					
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	04 公園管理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	212	頁
計画期間	開始年度	令和3年度		終了予定年度	令和5年度		関連計画名					R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	都市公園法														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	都市・交通課で管理する都市公園等の公園内樹木が繁茂し、通行や公園利用の妨げとなったり、見通しが悪くなっていることから、剪定、伐採することで、安心・安全な公園を提供する。					
対象者	市民		対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	5,500		8,000		8,000		8,000	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0			
	次年度繰越	0		0					
小計(①～③)		5,500		8,000		8,000		8,000	
予算財源内訳	① 一般財源	5,500		8,000		8,000		3,000	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		5,000	
決算情報	① 流充用額	1,492		1,697					
	② 配当予算	6,992		9,697					
	③ 執行額	6,992		9,697					
	④ 執行率	100.0%		100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.19	/	0.00	0.10	/	0.00	/	/
	② 概算人件費	1,520		800					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,512		10,497					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	見通し改善公園数	箇所	0	/	0	4	/	6	9	/	9	22
			/		/		/		/			
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	伐採公園数	件	0	/	0	4	/	6	9	/	9	22
		単位あたりコスト	0.0		1748.0		1077.4					
			/		/		/		/			
		単位あたりコスト			35						都市公園等環境整備事	

# V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹木の、適切な維持管理は、公園利用者や周辺住民にとって、良好な都市公園の環境を整えるために必要である。</li> <li>地域からの要望を受けて、現地調査を実施し、その緊急度に応じて、優先順位を決めて事業を実施している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ごとに取りまとめ発注することで、工期短縮や、スケールメリットによるコスト削減を図っている。</li> <li>指名競争入札による価格競争によりコスト削減を図っている。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹勢弱ったの樹木や、大きくなりすぎた樹木を計画的に減らしていくことで、台風や豪雨等の影響により、倒木等による被害を軽減できる。</li> <li>以前より農耕者の通行の支障となることが多かった三段池公園に隣接する農道沿いの伐採を実施し、円滑な車両の通行を確保することができた。</li> <li>7つの街区公園については、公園利用の妨げになっている樹木や、近隣住民から伐採要望が多い樹木について伐採・剪定を実施した。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模な樹木伐採・剪定が必要な公園は、増加傾向にある</li> </ul>		
改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者や通行車両の支障となっているもの、民家の敷地内に侵入しているもの、倒木の恐れがあるものなど、緊急性や危険度を総合的に判断し、優先順位を決めて事業を進める必要がある。</li> <li>令和5年度においても、危険度や緊急性の高い公園から優先的に事業を進める。</li> </ul>		

# VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

# VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

# VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: )	<input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--	--	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公園施設長寿命化対策事業										事業コード	530260				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち						政策目標	3 生活基盤の確立							
	施 策 名	1 豊かな生活空間の整備								施策コード	931					
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課						所属長	芦田 裕人							
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	05 公園施設費		会計	01 一般会計		決算附属資料	214		頁
計画期間	開始年度	平成27年度		終了予定年度	令和08年度		関連計画名	福知山市公園施設長寿命化計画					R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	都市公園法															
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	公園利用者の安全・安心の確保や、公園施設に係るトータルコストの低減と、三段池公園内施設の防災機能を高めることを目的とする。				
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	1.5
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		user01: 福知山市			
予算情報	① 当初予算	100,000		108,000		61,600		53,000			
	② 補正予算	25,000		△ 4,100		0		0			
	③ 繰越予算	△ 31		14,590		15,410		0			
		前年度繰越	29,969		30,000		15,410				
		次年度繰越	△ 30,000		△ 15,410						
小計(①～③)		124,969		118,490		77,010		53,000			
予算財源内訳	① 一般財源	2,739		0		0		0			
	② 国支出金	54,465		44,795		36,705		25,000			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	61,700		58,800		36,200		25,200			
	⑤ その他特財	6,065		14,895		4,105		2,800			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	124,969		118,490							
	③ 執行額	123,881		117,343							
	④ 執行率	99.1%		99.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.40	/	0.00	0.25	/	0.00	/	/		
	② 概算人件費	3,200		2,000							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		127,081		119,343							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	公園施設長寿命化対策事業(防災・安全交付金)		種類	土木費国庫補助金		30,295		決算附属資料	20	頁
		公園施設長寿命化対策支援事業(防災・安全交付金)(繰越明許費分)			土木費国庫補助金		実績金額 15,000			20・22	
		公園施設長寿命化対策事業基金繰入(公園施設等総合管理基金、教育施設整備事業及び都市計画事業基金)			基金繰入金		15,347			42	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	都市公園有料施設利用人数	人	285924	/	500000	224644	/	502500	333620	/	502500
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	長寿命化工事件数	件	9	/	7	3	/	6	4	/	5
	単位あたりコスト		37111.3		41293.7		29335.8				
	単位あたりコスト		/		37 /		/		/		公園施設長寿命化対策事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か  ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か  ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・施設を長寿命化するための工事や修繕はライフサイクルコスト削減や維持管理にかかるトータルコストの低減の観点から必要不可欠である。 ・予防保全型による維持管理は、利用者の安全を確保するうえで必要である。 ・令和4年度においては、以前より利用者からの要望を受けていた多目的グラウンドトイレの改修及び洋式化を実施。 ・動物園の受水槽の更新及びテニスコートクラブハウスの外壁及び屋根の改修を実施。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か  ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか  ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・福知山市公園施設長寿命化計画だけでなく、利用者ニーズや危険性、重要性など総合的に判断し事業を実施している。 ・国庫補助金や起債等の財源を確保し事業を実施している。	<input type="checkbox"/> やや高い  <input type="checkbox"/> やや低い  <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか  ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか  ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・利用者ニーズに応じた改修を実施することで、施設の利便性の向上ならびに利用者満足度の向上を図っている。 ・計画的に長寿命化対策を実施することによりライフサイクルコスト削減や維持管理にかかるトータルコストの低減が図れている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・公園施設長寿命化計画により、施設の健全度判定を行っており、改修等の優先順位が示されているが、災害時における防災機能向上や、利用者ニーズも考慮し実態に即した事業を実施する必要がある ・国庫補助対象外の施設についても対策が必要である。 ・利用者の安全を確保し、公園の機能を保持していくためには、適正な維持管理と、老朽化した施設の計画的な更新が必要不可欠である。		
改 善 策	・健全度判定の結果だけでなく、利用者ニーズや利用頻度などから、総合的に判断し事業を実施していく。 ・更新や改修が必要な、国庫補助対象以外の公園や施設についても、有効な財源を確保するように努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名:      ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名:      )